



足立山森林公園の風景

## 深刻な雇用情勢に 対する認識は？

**議員** 本市は、有効求人倍率が全国平均を下回るなど、失業者が急増し深刻な状態である。

今回の補正予算では、国の事業を活用して1333人の新規雇用を生み出すとしているが、昨年度と比べると人数が少なく不十分である。本市の深刻な雇用情勢をどう認識しているのか。

**市長** 本市では、4月の有効求人倍率が6年ぶりの低水準である0.42倍となるなど、大変厳しい雇用情勢にあると認識している。

また、企業の賃金抑制等による個人消費の低迷が続くことなどが予想されており、今後も現在の厳しい雇用情勢がしばらく続くと考えられる。

このため、市としては、雇用対策を当面の重要課題として、国や福岡県とも連携を密にして、①国の緊急雇用創出事業の追加実施等による雇用の創出、②企業のニーズに対応し、求職者が就職しやすいするための人材育成の充実など、さまざまな取り組みを適時的確に実施していく考えである。

## 経済対策として期待している。

### 学校の太陽光発電導入事業など

**議員** 今回の補正予算案には、学校の耐震化や太陽光発電の導入など、安全・安心のまちづくりや環境モデル都市の推進の分野の公共事業も盛り込まれているが、経済対策として効果期待できるのか。

## 本会議での質問と答弁

本会議での質問と答弁は、要約したものを掲載しています。詳細は、9月上旬以降、各市立図書館において会録でご覧いただけます。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも9月下旬ごろから閲覧できます。

### して効果が期待できるのか。

**市長** 今回の補正予算案は、従来の型の公共事業だけでなく、将来的な成長戦略を見据えた国の方針を踏まえ、学校の太陽光発電導入事業や地上デジタルテレビ等整備事業、環境共生住宅モデル事業を計上している。

これらの事業は、環境モデル都市の推進や、教育環境の向上に資するものであり、本市の経済への波及効果を期待できるだけでなく、これからの成長戦略上も有意義な事業であると考えている。



太陽光パネル(10kw)の設置事例



校内に設置された発電規模を表す掲示板

太陽光発電導入モデル校の曾根東小学校

## 公共事業の前倒し発注を！

**議員** 公共事業関連経費については、緊急経済対策としての効果を最大限に発揮するためにも、可能な限り前倒し発注を行うなど、地元業者の経営支援を積極的に進めたい。

**市長** 本年度の予算執行方針の中で、地域経済の支援・活性化を図るため、早期発注に努め、可能な限り前倒しに取り組むよう指示した。また、緊急経済・雇用対策を迅速かつ着実に執行するよう徹底を図った。

本会議では、各会派から次の15人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 大石 正 信 (日本共産党)
- 日野 雄 二 (自市民民クラブ)
- 永岡 啓 祐 (ハートフル北九州)
- 波田 千賀子 (日本共産党)
- 鷹木 研一郎 (自由民主党)
- 岡本 義之 (公明党)
- 木村 年 伸 (自市民民クラブ)
- 山本 真理 (ふくおかネットワーク)
- 木村 優 一 (公明党)
- 河田 圭一郎 (ハートフル北九州)
- 井上 真 吾 (日本共産党)
- 宮崎 吉 輝 (市民の声)
- 大久保 無 我 (ハートフル北九州)
- 野依 謙 介 (日本共産党)
- 奥 永 浩 二 (ハートフル北九州)

## 学級崩壊を経験した 児童・生徒へのケアは？

**議員** 昨年1年間に、いわゆる学級崩壊やその手前ではないかと思われる事例を何度も耳にした。学級崩壊による担任の病欠や退職を経験した児童・生徒へのケアはどのようになされているのか。

**教育長** 学級が荒れた状態が長期にわたると、授業や行事の遅滞はもとより、児童・生徒自身の心や態度に直接与える影響も大きい。

そのため、児童・生徒へのケアとして、①心の教育や人間関係づくりに関する指導、②スクールカウンセラーによるカウンセリングや、③保護者との懇談やアンケートを行っている。

また、中学校へ進学した生徒への対応として、日ごろからの小中連絡会議や中学校入学時におけるきめ細かな情報交換を行っている。

今後とも児童・生徒に与える影響に十分に配慮するとともに、小中連携の取り組みの充実により、学級の荒れの未然防止と早期解決に努めたい。

## 学校施設の耐震化に どう取り組むの？

**議員** 国は、学校施設の安全性の基準を上回る1s値0.7以上にすることを求めている。耐震診断の結果、この基準を下回った施設について、今後どう取り組んでいくのか。

**教育長** 学校施設の耐震化については、本年度から計画を見直し、優先度の高い90校の耐震診断を来年度までに完了することとしている。

そのうち、1s値0.7未満の施設については、平成24年秋以降に順次耐震化に取り組む必要があると考えているが、まずは、大規模な地震による倒壊等の危険性が高い1s値0.3未満の施設について、平成24年秋を目途に耐震化に全力で取り組むたい。

\*1s値  
建物の耐震性能を示す指標



耐震化された桜丘小学校

## 響灘グラウンドの 安全確保のために……

**議員** 民間企業の産業廃棄物処分場跡地に整備する(仮称)響灘グラウンドは、多くの市民がスポーツに汗を流す場所であり、万全の安全対策が求められる。そこで、民間企業に対し、土壌汚染の有無に関する調査を実施し結果を公表するよう求めるべきではないか。

**建設局長** 響灘グラウンドは、廃棄物処理法上の有害な産業廃棄物には該当しない鉱さいで主に埋め立てられており、表面は土砂で覆土されている。また、しゅん工後は民間企業が自主的に周辺地域のモニタリングを実施し、その結果については市で問題ないことを確認している。

さらに、今回の整備に当たっては、水はけの良いグラウンドとするため、新たに50センチメートル以上の盛り土を行うこととしており、安全上問題はなく、調査は必要ないと考えている。

## がん検診の受診者に特典を！

**議員** がんの早期発見は、早期の治療や医療費の抑制につながるが、本市ではがん検診の受診率が低い。受診率の向上のため、何らかの特典を検討してはどうか。

**保健福祉局長** 受診率を向上させるために、市民が受診しやすい環境を整備することや、検診の重要性を認識してもらうことが必要である。

このため、昨年度は、がん検診フェアなどの健康づくり推進キャンペーンを実施し、市民の参加を促した。本年度は、新たに健康マイレージ事業を実施し、がん検診等の健康づくりへの取り組みをポイント化し、貯まったポイントに応じて健康グッズなどの景品をプレゼントすることとしている。

今後とも、市民に検診の重要性に気付いてもらえるよう、関係機関と協議しながら、より工夫した取り組みを積極的に推進していきたい。

## のびのび赤ちゃん 訪問事業について

**議員** のびのび赤ちゃん訪問事業は、子育て家庭を孤立させず、安心して子育てができる環境づくりのため有意義であるが、実施状況その効果はどのように表れているのか。また、それらの結果を踏まえた今後の取り組みについて尋ねる。

**子ども家庭局長** 子育て支援に関する情報の提供や助言などを行っている。

訪問件数は、平成16年度の1845件から、昨年度は約6000件と大幅に増加し、今年度は生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭の訪問を行う予定である。訪問を受けた母親からは「悩みや不安を聞いてもらい、安心できた。」などの評価を得ている。

一方、事業を実施する中で、産後うつについての医療機関との連携の強化や、10代で出産する母親へのかわりの充実などの新たな課題も見えてきた。今後は、課題の解決に向け、関係機関と協議して連携体制の強化を図り、安心して子どもを生み育てることができるよう環境づくりを進めていきたい。



健康マイレージ事業の啓発パンフレット